

津田小学校 (6) 年

◆「見えない学力・見える学力」における津田小の子どもたちの課題

【見えない学力】

- ・主体性（考える力）
- ・個の力（一人で粘り強く取り組む力）
- ・計画力（見通す力）

【見える学力】

- ・文章読解力
- ・文章構成力
- ・読み、書き、計算力

めざす子ども像 これもヒントにしてくださいね♪

- ①すべてが大切な存在 互いを認め合う仲間づくり◎
- ②「できた」「わかった」「がんばった」等 自己肯定感↑
- ③伝え合って互いを理解する コミュニケーション力↑

◆R06 校内研テーマ

仲間とつながる授業づくり～きょうどう学習を通して～

◆学年としての取組をする上で、明確にしておきたいこと。

【子どもたちにつけたい見えない学力】

- ・主体性→様々な経験をし、自分に合った方法を見つけ出す。(解き方、文章構成など)
- ・個の力→課題を解決するための様々な手立て。(タブレット、ヒントカード、視覚補助、具体物等)
- ・計画力→見通しをもって各課題に取り組む手立て。(学習カレンダーの活用・期日を決めるなど)

【子どもたちにつけたい見える学力】

- ・ミニ問題で読み取る、計算、書くことの習慣をつける。
- ・ただと答えを求めるのではなく、なぜその答えになったのかを考える。(図・言葉・式など)

【個別最適な学びの充実に向けた取組】⇒ すべての児童に対して

①指導の個別化・学習の個性化の取組

タブレットを活用する。(教科に応じて、適切なツールを精選する)

②支援教育の観点に向けた取組

きょうどう(支援の子のみならず)の徹底。視覚支援、見やすい板書計画。先を見通して伝える。伝え合う、こども同士で声を掛け合う。学び合う。

【協働的な学びの充実に向けた取組】⇒ すべての児童に対して

①協働的に取り組む学習活動

きょうどうを意識した活動(ペア学習、グループ学習など)

②人権教育の観点に基づいた取組 ⇒ 日々の学習活動を通して

授業内外問わず、相手意識をもって生活していく。一人ひとりの持ち味の理解。よさを受け入れる。平和学習や性教育、SDGsなどにつなげていく。(教科横断型)

【校内研のテーマに対する取組】

各教科、行事などで仲間とつながる手立てを用意し、1年間積み重ねていく。(タブレット、具体物、資料、場の設定など)

【SDGsの取組】(「やり切る」が大事!)

テーマ: つなげるSDGs!

各教科、学校行事などの内容とSDGsがどのようにつながっているか考え、取り組んでいく。

【道徳教育のあり方】

- ・ 学年の現状に応じた教材の入れ替えなどを行うなどのカリキュラムマネジメントする。
(「修学旅行の夜」など)
- ・ 各項目において、「価値理解」「人間理解」「他者理解」につなげる授業を展開する。